

平成 30 年度 研究成果報告書  
Research Achievement Report FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語・日本文化専攻 講師
氏名 Name	山泉 実
専門分野 Academic Field	言語学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	名詞句の認知意味論・認知語用論
<p>1. 指示参照ファイルによる名詞句の認知意味論・認知語用論の理論の構築：「コピュラ文名詞句の解釈多様性を扱える認知語用論の構築」（研究代表者、JSPS 科学研究費：17K1784、2017 年度~2019 年度）の交付を受けて進めている研究。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 各種コピュラ文、各種存在文、高階の変項名詞句、各種変化文、潜伏疑問文・潜伏命題文、不透明文脈、名詞句の自由拡充など各種現象をこの理論で分析し、理論を精緻化した。</li> <li>● その分析を口頭発表した。独自の理論の前提・大枠から話す必要があり、短い口頭発表には適さないため、小規模な研究会で 2～6 時間の発表を重ねた。 「認知的枠組みによるコピュラ文と名詞句の分析」（第 101～103 回慶應意味論・語用論研究会） 「指示参照ファイルによる名詞句の認知意味論・認知語用論 その 2、その 3、その 4、その 5」（2018 年度 言語学シンポジオン第 1～3 回、第 1 回 オフライン哲言語学会）</li> <li>● 来年度以降、研究成果を発表する準備： ICLC2019（第 15 回 International Cognitive Linguistics Conference）に応募、採択。 単著の出版提案書・目次を出版社に持ち込み、検討中。</li> </ul> <p>2. 指示参照ファイルによる名詞句の認知意味論・認知語用論の理論の源流となった以下の 2 冊の翻訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Jackendoff, Ray. 2012. <i>A User's Guide to Thought and Meaning</i>. Oxford: Oxford University Press.</li> <li>● Scott-Phillips, Thom. 2014. <i>Speaking Our Minds: Why Human Communication is Different, and How Language Evolved to Make it Special</i>. Basingstoke: Palgrave MacMillan.</li> </ul> <p>共訳者の都合などにより大幅に刊行が遅れているものの、今年度、一方は初校の校正が終わり、来年度初旬に刊行できる目処が立った。もう一方は全章の訳文が一応完成し、こちらも来年度中に刊行予定。</p>	